

2017年3月期第1四半期(累計)【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第1四半期(累計)業績	2016/3期 第1四半期		2017/3期 第1四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	20,226	100.0%	20,135	100.0%	△91	△0.5%
営業利益	1,717	8.5%	1,851	9.2%	133	7.8%
営業外収益	340	1.7%	212	1.1%	△128	△37.6%
営業外費用	167	0.8%	358	1.8%	190	113.6%
うち支払利息	69	0.3%	106	0.5%	36	52.5%
うち為替差損	73	0.4%	226	1.1%	153	208.0%
経常利益	1,890	9.3%	1,704	8.5%	△185	△9.8%
特別利益	-	-	200	1.0%	200	-
特別損失	-	-	0	0.0%	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,890	9.3%	1,904	9.5%	13	0.7%
法人税等	773	3.8%	179	0.9%	△593	△76.8%
法人税等調整額	△161	△0.8%	331	1.6%	492	-
非支配株主に帰属する 四半期純利益	252	1.2%	96	0.5%	△156	△61.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,026	5.1%	1,297	6.4%	271	26.4%
為替レート(1USD/円)	120.17		112.68		左記為替レートは 各期3月末TTMレート	
為替レート(1ユーロ/円)	130.32		127.70			

<第1四半期 決算概要 (前年同四半期比)>

【売上高】 前年同四半期比0.9億円の増収。

【国内】 前年同四半期比0.9億円の増収。軸受生産の海外移管や国内自動車生産台数の減少の影響を受けたが、代理店経由の市販品販売が増加し自動車関連は横ばいにて推移。一方、建設機械向け及び船舶向けの販売が減少した。

【海外】 前年同四半期比1.8億円の増収。自動車関連は北米を中心に増加したが、北米での建設機械向けや、欧州での中小型船舶などの中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売減少に加え、円高により円換算後の売上が減少した。但し、現地通貨ベースでは、北米、アジアが増収であった。

【利益】

営業利益は、前年同四半期比1.3億円(+7.8%)の増益。国内は減益となったが、海外において主に北米事業の売上・利益が伸長したことから、全体で増益となった。

経常利益は、為替差損2.2億円を計上したこと等から同1.8億円(△9.8%)の減益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同2.7億円(+26.4%)の増益となった。

<連結業績予想、配当予想>

2016年5月13日に公表した業績予想に変更はありません。なお配当予想につきましては、中間15円、期末15円の年間30円を据え置いております。

<所在地別 (前年同四半期比)>

◇ 国内

・前年同四半期比の売上高増減率は+0.8%。

【自動車関連】 軸受生産の海外移管や、国内自動車生産台数減少による影響を受けたが、代理店経由の自動車関連売上(市販品)が増加し横ばいにて推移した。

【建設機械向け】 海外需要の低迷に加え、国内需要も排ガス規制の駆け込み需要の反動減を受け減少した。

【船舶向け】 大型船舶向け(低速ディーゼルエンジン用軸受)の販売が輸出を含めて減少した。

【一般産業向け・その他】 発電設備等に使用するタービン用軸受や、新たな分野の電気二重層キャパシタ用電極シートの販売が伸びた。

・営業利益は、建設機械向け及び大型船舶向けの販売減少が主因で減益となった。

◇ 海外 (12月決算につき1~3月の累計)
【アジア】 前年同四半期比の売上高増減率は△4.0%。円高の影響を受けたが、現地通貨ベースでは増収となり、中国、タイ、インドネシアが増加し自動車関連は堅調に推移した。営業利益は、円高の影響等から減益となった。

【北米】 前年同四半期比の売上高増減率は+15.6%。建設機械向けの減少に加え、円高の影響を受けたが、メキシコ工場の生産拡大により自動車関連が順調に推移した。営業利益は、前年同四半期のマイナスから黒字に転じた。

【欧州】 前年同四半期比の売上高増減率は△9.2%。円高の影響に加え、中小型船舶などの中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売等により減収となったが、自動車関連は堅調に推移した。

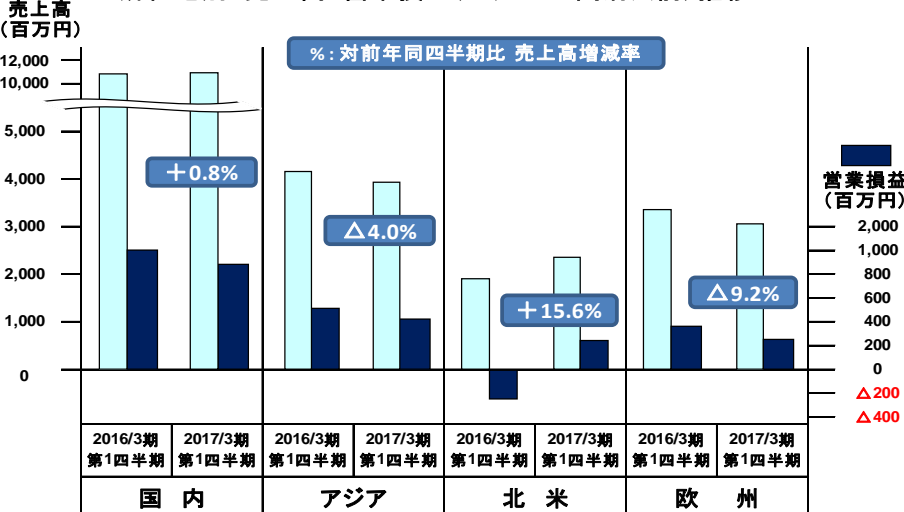
営業利益は、中高速ディーゼルエンジン用軸受の減収や、ロシアでのトラックビジネスの操業開始に伴う一時的な収益悪化等により減益となった。

業績推移	2016/3期(実績)			2017/3期(実績/予想)		
	第1四半期	第2四半期	通期	第1四半期(実績)	第2四半期(予想)	通期(予想)
売上高	20,226	41,981	81,400	20,135	40,000	81,500
営業利益	1,717	3,527	7,114	1,851	3,300	7,700
(営業利益率)	(8.5%)	(8.4%)	(8.7%)	(9.2%)	(8.3%)	(9.4%)
経常利益	1,890	3,762	6,796	1,704	3,300	7,700
(経常利益率)	(9.3%)	(9.0%)	(8.3%)	(8.5%)	(8.3%)	(9.4%)
純利益	1,026	2,050	3,919	1,297	2,100	5,000
(純利益率)	(5.1%)	(4.9%)	(4.8%)	(6.4%)	(5.3%)	(6.1%)
為替レート(1USD/円)	120.17	122.45	120.61	112.68	102.91	想定105.00
為替レート(1ユーロ/円)	130.32	137.23	131.77	127.70	114.39	想定120.00

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2016/3期 第1四半期		2017/3期 第1四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受(※1)	13,773	68.1%	13,913	69.1%	140	1.0%
自動車用エンジン以外軸受(※1)	3,071	15.2%	3,119	15.5%	47	1.5%
非自動車用軸受	3,050	15.1%	2,600	12.9%	△449	△14.7%
その他(※2)	331	1.6%	502	2.5%	170	51.4%
合計	20,226	100.0%	20,135	100.0%	△91	△0.5%

(※1)当第1四半期連結会計期間より、「自動車用エンジン以外軸受事業」の一部を当社グループ内の事業管理区分の見直しに伴い「自動車用エンジン軸受事業」に変更しており、上記の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

(※2)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前)推移


主要財務指標	2015/3末	2015/6末	2016/3末	2016/6末	2016/3末比
売上高営業利益率	9.0%	8.5%	8.7%	9.2%	+0.5P
自己資本当期純利益率(ROE)*	10.8%	9.4%	9.0%	11.8%	+2.8P
自己資本比率	37.4%	37.8%	35.8%	35.4%	△0.4P
純有利子負債(有利子負債-現預金)	17,964	18,215	23,237	21,242	△1,995

*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2016/3期 第1四半期	2017/3期 第1四半期	前年同四半期比 増減額
設備投資	10,838	10,597	14,802	1,826	2,825	+998
減価償却費	5,027	5,744	6,259	1,443	1,564	+120

(注)業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。